

〔大城勇太議員 登壇〕

○6番 大城勇太君 町民の皆様、そして執行部の皆様おはようございます。去年の9月9日に当選して、1期目の2年目がスタートしました。この1年を振り返ると町民の皆様には国保税の問題や健康保険税の値上げで多大なるご迷惑をおかけしました。その点をしっかり反省して、町民の皆様にご説明をしながら、これからしっかり町政にも声を届けていくと同時に、まだ1期目の2年目を、1年目よりも新たに心を引き締めて、町民にとって住みよいまちづくりを目指して頑張っていきたいと思っておりますので、どんな小さなことにも一歩に、全力で頑張っていきたいと思っておりますので、執行部の皆様、あしたは楽しくなるようなご答弁をよろしくお願いいたします。

それでは一般質問に入らせていただきます。すみません、議長、休憩をお願いします。

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前10時40分）

再開（午前10時41分）

○議長 知念富信君 再開します。6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 それでは質問に入らせていただきます。一問一答をお願いします。大きい1番、町内小中学校について。（1）小学校の運動会を涼しい11月に統一できないか。（2）一般質問で以前取り上げた小中学校の電子黒板の電球取りかえについての経過を問う。（3）子ども議会の実施ができないか。お願いします。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 それでは質問事項1点目の（1）についてお答えいたします。各小学校においては、それぞれ工夫して年間行事を作成しております。そのため小学校の運動会の開催時期についても統一することを今は検討しておりません。また各小学校においても涼しい時期に開催するなど、それぞれで工夫しております。

（2）でございます。今年度は、6台について電球の交換をいたしました。

（3）についてでございます。年間計画での学校の行事、それから授業時数との関連もあり、現時点では学校、それから教育委員会が主体となつての子ども議会の実施予定はございません。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ご答弁ありがとうございます。私は養豚業をもともとしているんですけども、日本の中で運営している養豚業は沖縄県が一番過酷な場所だと言われているんですけども、豚の一番の快適な温度が13度ぐらいと言われております。沖縄の平均気温が約23度ぐらいですので、豚にとってはとても厳しい環境で育てられているというふうに感じています。20度を超えると豚はヒートストレスというものを感じると言われていますけれども、豚のヒートストレスは気温掛ける湿度であらわして、約1,800以上を超えると豚はヒートストレスを感じるそうですけれども、沖縄県の年間の湿度と気温を調べると、7

月、8月は気温は高いんですが、湿度が余りなくて、9月は台風シーズン、雨が多くて、9月が一番降水量が高く湿度も高い。それを換算すると、9月と11月の差は約1.8倍ぐらい、豚も人間もストレスを感じるとってはいるんですが、9月に最も高くなるということは、やはり子供たちにとっても、とても過酷な中で練習をしているのかなと思っています。実際に台風で津嘉山小学校は延期になって、今週の日曜日に運動会が開催されるんですが、その間、全体練習で、うちの子供は5年生、3年生がいますが、全体練習で何人も体調不良を訴えて練習中に抜けていると聞きました。実際に運動会の練習で、熱中症などで授業を休んだり学校を休んだ子はどのぐらいいるか把握しているのであれば、お願いします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 実際、運動会の練習中に保健室を利用した子供の数というのは把握しておりません。ただ、前年度を例に挙げますと、保健室を受診しまして、その後、医療機関で熱中症と判断された子が南風原小学校で3名、津嘉山小学校でゼロ、北丘小学校で1名、翔南小学校2名というふうに報告を受けております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 把握している数がそれだけというわけであって、実際にも休んだりという子は結構な数がいるということをお聞きしているので、実際に体育の日、スポーツの秋、食欲の秋とは言われておりますけれども、全国で見ても運動会というのは春に6割方、5月ぐらいに行われるのが、東京は9割が5月ごろに行われているとネットのほうでも書かれていました。暑い沖縄ですから、また台風の多い9月ではなくて、11月に統一するようなことを促していただければ。今回台風で、食料を買ったけれども前日にしかわからない。そういったことも多々ありましたので、是非運動会の開催時期を見直すよう促す必要があるのではないかと思います。改めて見解を伺います。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 教育長からの答弁にもございましたが、各小学校では涼しい時期に開催できないかということでの検討と工夫は進めているようでございます。基本的に学校のほうとしては、勉強のスケジュール、沖縄県としては学力向上を目指してさまざまなスケジュールが学校の中にも組み込まれているんですけれども、そういった取り組みとあわせて運動会等の時期、それからいろんな発表会等の時期をやっているものですから、それで今回は11月、それから10月、9月という形で運動会が開催されています。今回の議会のほうでこういった質問もございましたということも学校には届けています。これからは学校のほうではいろいろ工夫していきたいということでしたので、その辺については学校のほうを見守っていただきたいと思えます。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。実際、南風原町が今回は11月10日に運動会をやるので、各学校、校長の会談等も含めて、是非涼しい時期に開催できるようにしていただけたらと思いますのでよろしくをお願いします。

続いて、(2)の一般質問で以前取り上げた小中学校の電子黒板の電球取りかえについて。先ほどもお聞きしたんですけれども、各学校に入っている電子黒板はエプソン製だとお聞きしました。エプソン製だと省エネモードを使って約2,900時間、省エネモードを使わないで約3,900時間とありました。1日4時間使うと年間約1,000時間を使うわけですから、3年、4年ではメンテナンス時期に入ってくるかと思います。先ほどもお聞きしましたけれども、平成25年に一括交付金で約7年ぐらいたっているわけですが、7年目になって、現在、小中学校でもどのぐらいの交換が必要なのかということがわかればお聞きしたいと思います。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 電球の交換に関しましては、学校のほうから修理等については要望が上がったものに対して、担当のほうで確認して行っております。現在要望として上がっているのは北丘小学校からの16クラスということになります。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 今、北丘小学校が16台、津嘉山小学校は何台か交換しているようですが、実際、津嘉山小学校は独自で学力向上推進費のほうで5台交換したとありました。学力推進費は各学校どのぐらい割り当てられているのか。すみません、わかる範囲でよろしくをお願いします。

〔「休憩願います」の声あり〕

○議長 知念富信君 休憩します。

休憩（午前10時50分）

再開（午前10時50分）

○議長 知念富信君 再開します。学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 学力推進費は各学校へ15万円となっております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。各学校15万円程度で電子黒板を交換したということは、ほとんど全額使わないと交換できないということなので、実際16台交換しないといけないのではこれでは全然まかなえないような状況だと思いますので、やはり家電製品には買いかえ時期が来ます。3年から5年ではほとんど買いかえ時期になるかと思いますが、やはりこの財政ですので、コスト面も含めて、新しく出ているテレビ型のタッチパネルも含めて、アナログとデジタルを融合させる電子黒板のハイブリッド黒板アプリですね、アプリを活用してプロジェクターで黒板に映すものも出ていますので、そういったものを含めて町の財布にも優しいものをしっかりと検討して、若い先生、ベテランの先生にとっても工夫次第では授業に幅を広げて、学習効果をより高めることができると思いますので、是非検討して、買いかえ時期のほうも含めて検討していただけたらと思いますので、是非よろしくをお願いします。

続いて(3)の子ども議会の実施ができないかですが、答弁があったように、授業日数と

の関連等もありましたが、職場体験自体を子供たちがやっていますので、実際、養豚場にも来ていただいて、子供たちにはこういったものだよというを見ていただきました。約2時間ぐらいですね、説明しながら。そういったものを含めれば、子ども議会の開催ができるのかと私の考えではあるんですけども、実際に沖縄市では先月ですね、沖縄市内の中学校から選ばれた30人の生徒たちが議員として出席して子ども議会が開かれました。議長も決めて、会派もあって、商店街の活性化や雇用対策、環境問題について議員さんからの質問があったそうです。また本土の子ども議会では、子供たちの意見を尊重して市民が楽しんで生活できるまちになってほしいので、まちや市民の思いが描かれたデザイン、マンホールを設置してほしいとか。自転車は歩道を走ってはいけないという標識の指示どおり車道を走っていると車とぶつかるので、安心して通行できるような自転車専用の道をつくってほしい。これは名護のほうでもやっていますけれども、子供からお年寄りまで健康で活力あるまちづくりのために、公園をつくってほしいと、さまざまなものが実際に実現しているんですね。少なからず我々議員と子供たちの思いは、そして見方、視点は全然違うと思うので、是非やっていただきたいと思います。沖縄市の子ども議会では、子供たちの意見を取り入れた校則をつくるのはいかがかという答弁に、教育長が各学校で主体的に行うことは可能で、有効な手段だとおっしゃっていました。やはり時間がないからできるかできないかじゃなくて、問題はやるかやらないかという問題になってくると思うので、比較的南風原町は若いまちですので、やっぱり子供たちの意見にもしっかりと耳を傾けながら、寄り添ってやっていけたらと思いますが、改めてやる方向で検討できないか、ご答弁をお願いします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 ご提案の子ども議会ですけれども、こちらのほうでもいろいろ調べてみました。ただ、一般的に自治会のほうで記念事業とあわせて行われるケースも多いということで、それから議員がおっしゃるような身近なテーマをまちづくりとあわせて、いろいろ子供たちが子ども議会として意見を交換するというも行われているということはこちらのほうでも調べて、非常に面白い取り組みだと感じております。しかし、裏方の事務局のほうと、それから子供たちの様子をいろいろ調べてみますと、一筋縄ではできずに、いろんところが関係機関として動きながら、子供たちも何度も子ども議会の中身の勉強であるとか、それから質問の仕方、それから議論の仕方、ワーキングとかをいろいろやって、四、五時間も、五、六時間も時間を費やしていると。我々が調べた中では、八王子市の中だと8日余りの時間を使って、子ども議会を一つの質問としてまとめるような形をしていると。そういったもろもろの、かなりのエネルギーが必要ということで、先ほどからありましたように、今現在、教育委員会としては授業時数が非常に厳しいという面もありまして、教育委員会のほうで子ども議会の開催についてはまだ検討していないということでございます。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。沖縄市では実際やっているわけですから、何

日かかるかかからないとか、それも含めて、今後は子供たちの意見も踏まえて、小さな声もしっかり、町長、副町長も含めて聞いていただけたらと思いますので、是非検討するような方向でやっていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

続いて、大きい2番、町役場職員について…。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 先ほどの学推の費用ですが、申しわけありません、訂正いたします。13万円となります。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 私も13万円とお聞きしていたので、ちょっとことしは減ったのかなと思ってはいたんですけども…、ああ、ふえているんですね。ふえたのかなと思っているんですが、実際13万円ならどうしようもないので、是非電子黒板のほう、よろしくお願いします。

大きい2番、町役場職員について。(1)町正規職員と非正規職員の男女の平均年齢を問う。(2)子育てしている職員はどれぐらいいるのか。(3)育児休暇の取得率(女性・男性)を伺います。よろしくお願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項2点目の(1)についてお答えします。9月1日現在、正職員男性42.1歳、女性38.1歳、臨時及び嘱託職員男性48.1歳、女性41.3歳となっております。

(2)についてお答えします。小学生以下の子供がいる正職員は102人となっております。

(3)についてお答えします。今年度子供が生まれた正職員の育児休業の取得率は女性が100%、男性はゼロであります。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 再質問させていただきたいんですけども、本町には、現在どのような育児休暇制度があるか。わかる範囲でよろしくお願いします。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 それでは育児休暇についてお答えいたします。育児休業のほかにも配偶者が出産する場合、職員が育児や出産のつき添い等のために取得できる配偶者分娩休暇、また病気にかかった子の世話をを行う場合に取得できる看護休暇、子供に予防接種を受けさせる場合につき添うための予防接種の休暇等がございます。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。豊見城市も南城市も調べたんですけども、やはり同じようなもので子供の予防注射だったり、子の介護休暇1子に対して5日、2子以上で10日、育児休暇だと子供が1歳になるまで。本町の年齢層もさまざまだと思いますが、今回、平均年齢を伺ったんですが、やはりまだまだ(2)の子育てをしている職員も含めて、小学生以下は102名の職員が子育て世代だということで、日本の制度は世界的にも

今回1位の評価で育児制度があるというふうなものが新聞に載っていましたが、女性の育児休暇が83%に対して、男性は3%程度。沖縄は5%と全国の平均を上回っていますが、隣の豊見城市にお聞きしてもこの2年でゼロ人、南城市が去年、おとしゼロ人で、ことしは男性が育児休暇を3週間もらったそうです。やはりそれに比べると大分少ないようにも思いますが、厚生労働省が8月22日に、男性の育児休業取得の促進に対し、積極的に取り組む企業への助成制度を拡充する方針を決めました。やはりこれの目的の一つは、日本が直面する少子化、人口減少という課題の解消にあるようで、やはり男性が育児、家事をする時間が多いほど第2子が生まれる確率が高いということが統計でも明らかになっているようです。子供がいる夫婦の夫の休業の家事、育児の時間をこの13年間を統計した結果、夫が6時間以上家事をする家庭では90%が第2子の子供が生まれてくる。それが4時間未満だと80%以下、2時間未満だと50%以下、夫が育児、家事をしないところではほとんど出産しないと統計が出ているそうです。政府が2020年までに男性の育児休暇取得率13%という目標を打ち出してきました。やはりこれはまだまだ達成が困難な状況とは思いますが、ここで再質問します。

南城市がことし4月から非正規職員にも育児制度を取り入れました。本町には、非正規職員に対しての育児制度は今現在どのようなになっているのか、お願いします。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 答えします。今、非正規職員に対しての育児休業の制度はございません。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。今後は、育児制度を取り入れていただけると、働き改革も含めて雇用の後押しにもつながると思います。非正規職員にも育児制度を導入する方向で検討していただけたらと思います。自民党の議員連盟が地方公務員による男性取得率の民間企業と比べて大分おくれをとっているということで、男性の育児を義務化する法整備を今検討しています。それに先駆けて、本町も男性職員の休暇を義務化するというお考えがあるかどうか、答弁をお願いします。

○議長 知念富信君 総務課長。

○総務課長 新垣圭一君 答えいたします。義務化についてはありますが、町の育児休業に関する条例、規則等もですね、それのもととなる地方公務員法がございまして、それに基づく規則、条例に沿っております。義務化する際には、このもととなる条例、規則の改正が必要になってきますので、ちょっと厳しいところがあるかなと考えております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。先月、子供の定期健診に、ちむぐくる館で行われていたんですが、1歳の子供を連れていきました。男性は私と、あと1人しかいないんです。70人が受診する中で。これを見たら全然と言ったらおかしいんですけども、なかなか育児には参加していないのかなと思いますので、是非今後は男性も育児休暇に参加し

ていただけたらと思います。この時勢ですので、非正規職員に育児休暇を、そして育児休暇を義務化にいただけたらと思いますので、前向きに検討をよろしくをお願いします。

続いて大きい3番、ふるさと納税について。(1)本町のふるさと納税を子供たちや青年会活動などへ追加できないか。(スポーツ、芸能、文化、武道の派遣費への補助、子ども食堂などへの補助、地域の子供や青年会活動への補助など)。お願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項3点目のふるさと納税についてお答えします。南風原町ふるさと寄附条例において、ふるさと寄附金を財源として実施できる事業は、1点目、教育、文化、スポーツ活動の充実に関する事業。2点目に、町民の健康増進及び福祉の向上に関する事業。3つ目に、産業の振興及び魅力ある観光地づくりに関する事業。4つ目に、自然環境の保全及び景観の維持、再生に関する事業。5つ目に、町民によるまちづくり活動の推進に関する事業。6つ目に、その他目的達成のために町長が必要と認める事業と定められており、議員要望の事業についても、現行の条例の内容でふるさと納税を財源として、実施可能な事業となっております。なお、ふるさと寄附金の活用については、寄附者の意向を尊重しつつ、議員要望など事業も含め本町のまちづくりに有効活用できるよう随時検討してまいります。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 質問が、ちょっとわかりづらかったと思いますけれども、実際に今、スポーツだったら県外派遣費の航空運賃の2分の1だったり、そういったものの補助金に充てられていると思いますが、実際、ふるさと納税が上がってもこの補助金率というのは上がるわけではないと思うんです。だから私が今回提案したいのは、以前にも一般質問で県外派遣費の拡充をお願いしましたが、なかなか情勢もありますので、もちろん半分でもとても助かりますが、今回津嘉山の野球チームが18年ぶりに県外のほうで、全国大会に派遣されました。そのときに約20名ぐらいの子供の参加、大人を合わせると60名で実際行ったわけですが、経費にすると150万円近くの経費がかかったと思っています。子供たちが資金集めをして、よく街頭や町中で募金をお願いしますなどというのをよく見かけますが、私の考えからしたら、そういうことをしている暇があれば、練習をしていただきたいというのが私の意見です。そこで、本町の県外派遣費の拡充の要望も重ねて、ふるさと納税を生かせないかというのが今回の要望ですが、実際にいろいろなスポーツにもふるさと納税では補助を出していると思いますが、先月、本部町がふるさと納税の積み立てをして、子供の貧困対策、子供の世帯支援に出す基金を沖縄県初で創設しました。その使い道として、漢検や英検の費用、スポーツや文化活動の費用、出産祝い、地域の子供活動への補助が増設されたというふうに新聞報道でもありましたが、やはりそれだけではどうしても足りないのです。ふるさと納税は毎年々々上がっているわけですから、今回の私の提案は、本町のホームページにあるふるさと納税を是非活用して、返礼品だけではなくて、この用途は何に使われるのか。この返礼品は子供たちの派遣費に使われますであったり、子供たちが今回、来年行く、ことし

優勝したから来年も行くわけではないと思うので、今回は津嘉山小学校が全国大会に行くからこの費用をクリックしたら、この項目に使われる。また11月に行われる青年会フェスタなどもありますので、今回11月に向けた青年会フェスタのためのアイコンをつくと。そしてクラウドファンディングみたいな形になってしまいますが、今現在これだけ集まりました。これをクリックして返礼品を見ながら、子供たちのピーアールですね、子供たちが頑張っただこまでやりましたというピーアールも兼ねたものづくりで、このふるさと納税、納税してくる方がどこに使われているのかわかるような形で是非やっていきたいと思いますが、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 企画財政課長。

○企画財政課長 与那嶺秀勝君 お答えします。議員おっしゃる県外派遣事業であったり、青年フェスタの補助金として、ふるさと納税の財源を実施することは先ほど副町長からあったように、実際にその事業の追加、ふるさと納税を使って事業をすることは可能です。そういった部分で、さらに特化して県外派遣事業を追加したり、ホームページを活用する寄附金として募集することは、現在行っている受益者負担の部分や他の事業とのバランスなどを考えますと、現時点で追加等、ホームページでの募集はちょっと厳しいかと考えています。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。是非ですね、先日あった好春議員の島バナナを、是非返礼品に、子供たちの派遣も含めて、試験的にでもいいのでやる方向で検討していただけたらと思いますので、是非頑張っている子供たちにも明るい未来が開けるようによろしくをお願いします。

続いて大きい4番、町道22号線と県道の接続について。(1)町道22号線と県道の接続の進捗状況を伺います。(2)今後は信号機設置なども検討しているか。よろしくをお願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項4点目の(1)についてお答えします。現在、国道事務所では取付部の設計検討を行っております。設計が整い次第、県公安委員会協議を終了後に地域へ説明を予定しているということでもあります。

(2)についてお答えします。県公安委員会において、現時点での信号機設置は予定していないということです。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。南風原バイパスが完成してより一層利便性にも向上したかと思えますけれども、やはりその反面ですね、地域住民からお話があったようにですね、この国道から町道に入る際、北丘ハイツ付近、部落に入るときに実際下まで、信号がついたところまでお入りか。それともUターンして上まで戻って町道22号線に入るかというふうになっていると思いますので、是非今、国道事務所のほうでは設計変更を行っているということですので、しっかり自治体のほうにも説明を行っていただけるといい



ますのでよろしくお願いいたします。

(2) の今後、信号機なども検討しているかの件ですが、実際道がちょっとずれたんですが、これは与那原署の話によると危険だからちょっと道をずらしたということをお聞きしました。だから今回、取付部の設計検討を行っているということをお聞きしましたので、是非3車線をまたぐような形にはなりますが、国道から町道、信号機などの安全対策等をしっかり管理すれば、当初説明があった接続工法でも十分対応できるかと思しますので、あわせて自治体との話し合いを持っていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。これで一般質問を終わります。ありがとうございます。